

歴史探訪 Part II - ②

江戸川木材工業株式会社

顧問 清水 太郎

昨年から通い始めた大学歴史学部 聴講 2年目で、日本近代史を指導賜ったK教授が、ある日下記のように話をされました。「幕末来日したシーボルトの影響で、日本の医学を中心とした蘭学が大きな進歩を遂げました。」

大学近くのブックオフで教材に使用する辞典等を探しておりましたら、『ふおん・しいほるとの娘〈上〉〈下〉』を見つけ購入しました。著者吉村昭氏(1927～2006)は私の高校の13年先輩でありました。思い起こしますと、氏をご存命のとき、全卒業生向けの総会があり、氏が講師として『桜田門外の変』を執筆された際の苦労話を披露されました。私は欠席しましたが、後日送られてきた機関紙に講演の内容が掲載されて降りました。何故こんな機会を逃したのか悔やまれました。

数年前、吉村昭著(高熱隧道)を講読しました。私は大卒後、某大手ゼネコンに入社し、土木技術者として勤務した経験がありましたので、氏の小説を興味深く読みました。巻末の(あとがき)で、その小説を執筆するために取材お世話になった20名程の氏名の筆頭に、私が在職時の上司名前がお礼の言葉とともに記されているのを見て、氏に親近感を覚えました。他に、学友の卒業50周年記念誌の中に、友人として今でも親しくしているK氏が学習院大の学生で会った吉村氏に家庭教師をしてもらったという件を見て、氏に対する想いが一層強く感じました。

前置きが長くなりましたが、今回は『ふおん・しいほるとの娘〈上〉〈下〉』、『桜田門外の変』を読みながら幕末の日本を探訪します。

シーボルトは、文政6年(1823年)長崎の和蘭商館付医師として27才のとき着任しました。1639年、人の無策がくにを閉じ、寛永16年將軍家光によって鎖国令が発令されました。寛永18年(1641年)平戸にあった商館が長崎に移ってきて和蘭商館屋敷といわれるようになりました。出島は総面積3,969坪(13,100㎡)ありました。正門の傍には禁札立てられ禁制一、傾城(遊女)之外女人入ること一高外ひじりの外、出家山伏入ることと、記されておりました。

シーボルトが来日した当時の和蘭はほとんどのヨーロッパ諸国を支配下に置いたフランスの統治下にあった為、インドネシアのバタビアにある出先機関から長崎に派遣されておりました。しかし、ナポレオン敗北後和蘭は再び独立国としての権威を回復しました。傾城 其扇は出島に遊女として入り、娘稲が誕生しました。

シーボルトは長崎に鳴滝塾を開き、美馬順三が塾頭に就任、医学蘭学の普及が推進されました。シーボルトの来日は、功罪二つの面がありました。功の面は、鎖国により閉ざされていた日本に風穴が開き、西洋文化の風が吹いてきたことでもあります。罪の面は、天保4年(1833年)のシーボルト事件である。伊能忠敬によって作成された日本地図のコピーが持ち出され、これに連座した高橋至時は罰せられ、高野長英は罪を問われて全国を転々と逃亡しました。シーボルトは国外追放となって去りました。

長女稲は医学を志し、長じて長崎を離れ、シーボルトの弟子 二宮敬作宅を四国に訪ね医術を学びま

した。明治になって名を伊篤と改め、福沢諭吉が慶應義塾大学に医学部を設立する際多大な貢献をし、明治36(1933年)天寿を全うしました。

引き続き『桜田門外の変』について探訪します。天保15年(1841年)老中水野忠邦によって天保の改革が実施されました。人はよい(1841年)と覚えた記憶が蘇ってまいりました。奇しくも同じ1841年、中国を阿片戦争によって滅ぼしました。そんな戦争卑しいわ(1841年)長崎にやってくる商人達から欧米列強諸国は、中国の次は日本をターゲットにしていると知らされ、日本はもっと強くならなければ外国の餌食になってしまうと憂う若き有識者たちがいました。ロシア、アメリカから通商をせままれ、尊皇攘夷の思想が生まれました。水戸藩には水戸学といって、海外の敵は打ち払うのが得策という思想がありました。藩主斉昭は、天保11年から、士気の昂揚と武備の充実を目指し軍事演習を大々的に実施しておりました。

1858年ペリー率いる4隻の黒船が来航し通商を求めました。幕府は井伊直弼を大老に抜擢し、朝廷の許可を得ないで日米通商和親条約を結び、これに異を唱える斉昭らを罰し、黒船に近づき、米国に渡航させよと求める吉田松陰らを罰し多くの有能な思想家、武士等を大量に罰し安政の大獄と云われました。

1860年水戸の脱藩藩士高橋鉄之助らは周到な計画の下に3月3日、井伊直弼を殺害した。幕府による長州征伐、薩長同盟、倒幕の大きな渦が江戸城へ向かい、西郷隆盛、勝海舟の会合により江戸城無血開城なり明治維新となりました。吉村昭氏は上下2巻を執筆するために100冊以上の史料を読み、国の内外を震撼させた熱き男達が躍動する様を再現し読者にすばらしい感動をもたらしました。



桜田門（高麗門）

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>